

## 2017年度 IFA 日本支部理事会兼総会議事録

日 時 2017年3月1日(水) 12:00~14:00

場 所 日本工業倶楽部 4階 第4会議室

出席者 36名

1、藤井保憲事務局長の開会宣言の後、増井良啓会長から挨拶があり、5月にソウルで開催された第2回 IFA Asia-Pacific Regional Tax Conference 及び9月にマドリッドで開催された IFA 年次総会に日本支部から多くの会員が参加されたことに対して謝意が示された。

2、経理担当 宮崎裕子理事から、資料2に基づき、2016年度の会計報告が行われた。収入面・支出面ともに大きな変動はなかったものの、支出面で新たに2項目(⑥年次総会参加費補助、⑨Web サイト改良費含む打合せ会場費)が追加されたことの説明があった。

次いで川田剛監事から、上記会計報告に関して適正な会計処理が行われている旨の報告があった。これを受けて、2016年度会計処理が承認された。

3、PSC メンバー青山慶二会員から別添資料に基づき、最近の IFA 総会議題の動向についての説明が行われた。

4、資料3に基づき、藤井事務局長から事業報告および今後の活動の説明が行われた。

会員数変動の状況、この1年間および今後の IFA 日本支部の活動状況について資料に基づいて報告がなされた。また当面 IFA 日本支部が抱える課題として下記の3点について説明がなされた。

### ① IFA アジア太平洋地域会合の日本開催について

2015年から IFA アジア太平洋地域会合(IFA Asia-Pacific Regional Tax Conference)が始まり、第1回会合をシンガポール、第2回をソウル、今年は第3回でニューデリー、来年は台北で開催される。日本支部からは、IFA Asia-Pacific Regional Tax Conference の chairman として南繁樹会員にご活躍いただいていることもあり、近い将来、日本での IFA 地域会合の開催も視野に入れ準備をしていく必要があると考えている。

### ② ホームページの充実について

日本支部からの情報発信はこれまでメールが中心であったが、支部のホームページの充実のため試行錯誤している。ホームページ充実の方向の一つは、会員への情報の提供であり、会合案内やブランチ・レポーター募集などの情報をタイムリーにわかり

易くお伝えするようにしたい。方向の二つ目は、会員による IFA 情報へのアクセスを容易にすることであり、「Congress documents」として IFA 年次総会の資料や報告会の情報を蓄積し、利便性の向上に努めている。方向の三つ目は、日本支部会員同士の交流や発信を充実させることで、これは今後の課題と考えている。ただ、また緒に付いたばかりであるが、YIN (Young IFA Network:40 歳以下の若手) 会員を対象に SNS を立ち上げた。ノウハウの蓄積を図りたいと考えている。

### ③ 支部研究活動の活発化

検討段階であるが、IFA 総会での議論と国内の国際課税の議論を結びつけるため、支部の研究活動の活発化を図りたい。理事の皆様や過去の Branch Reporter を中心とした勉強会の立ち上げを本年度中に実現したいと考えている。

5、資料 4 および 5 に基づき、理事・監事選任案、役員選任案の審議が行われた。

(議事進行 増井良啓会長)

理事については杉江潤会員を新たに含めた 29 名とし、監事については引き続き川田剛会員にお願いしたい旨の説明がなされ、満場一致で承認された。

役員についても、これまでの役員を再任することの案が提示され、満場一致で承認された。

6、以上に続き、名古屋経済大学名誉教授本庄資会員から記念講演として「多国籍企業を直視する国際租税法改革の始動に際して」のご講演があった。(本講演内容は租税研究に掲載される予定である。)

7、閉会宣言は、事務局長 藤井保憲が行った。